



5月号
[No.496]

二小だより

横浜市立港南台第二小学校 横浜市港南区港南台5-4-1
電話 045-831-7676 FAX 045-833-9742

「誰もが安心して」をめざして

校長 菅原 久忠

『スポーツと言っても、足の速さや力の強さは関係ない。頭にのせた「えび」や「ぶた」を落とさないように運び、皮で包んで「シューマイ」を作る。そんな「ゆるい」スポーツを、横浜市の小学生たちが発案した。』で始まる記事を朝日新聞で読みました。

「ゆるスポーツ」は、2016年に同協会を立ち上げたコピーライターの澤田智洋さんが発案者です。「運動能力や障害の有無、性別、年齢などにかかわらず、誰もが楽しめるよう考えられたスポーツ」とのことです。

子どもたちが発案した「横浜シューマイ工場」は、シューマイを完成する4つの工程を考え、例えば、「あんづくり」はお手玉をえびやぶたの「あん」に見立て、頭にのせて運んで皮（箱）に入れて数を競うそうです。きっかけは「ドッジボールをしてもボールが怖いと感じる子もいる」と担任が提案したとありました。クラスの子どもの声を紹介していましたが、いろんな立場に立ってルールを考えたり誰でも楽しむためにはどうしたらよいか想像したりできるようになったそうです。

二小でも、ロング昼休みといった機会を活用し「ふれあい活動」として、異学年集団での話し合い活動や遊びを通して望ましい人間関係を形成し、友達に対する思いやりの気持ちや感謝の気持ちを育てていくことをめざして取り組んでいきます。今年も「6年生全員がリーダーとなって参画し、全校のつながりを増やそう」を合言葉に、子どもたちの仲間意識を育てていきます。

「誰もが楽しめる」ことを考えていくことは簡単ではありません。でも、相談するプロセスを重ねていくことは必要なことだと考えます。「自信がないな」「苦手だな」というつぶやきを、今年も大切にしていかなばと改めて考えています。